

市民病院だより

HIV感染とAIDSのおはなし

感染管理認定看護師 永渕智寛ながいづみひろ

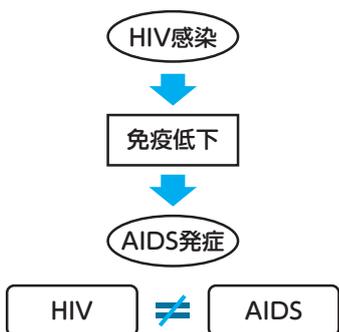
現在、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）感染の治療が進み、早期に治療することでAIDS（後天性免疫不全症候群）発症を予防できるようになり、HIV感染症は慢性疾患になりました。

しかし、治療が進んだことで新たな問題が発生しています。それは、HIV感染者が高齢者になった時の医療・介護の受け入れ先の問題です。

HIV感染症とAIDSの歴史

HIV感染症は、1970年代にアフリカで「スリム病」といわれていた病気でした。その後アメリカの都市で、男性同性愛者のなかで免疫不全患者の報告があり、AIDSと命名されました。

HIV感染からAIDS発症



HIV感染症とAIDSの違い
HIVに感染した状態を、HIV感染症。体内の免疫システムが次第に失われた状態を、AIDSと呼びます。

日本では、1985～87年に血友病患者が免疫不全で死亡した事例を機に、松本（長野県）神戸（兵庫県）でエイズパニックといわれる社会現象がおきました。この時の印象が強く、「HIVは恐ろしい病気」というイメージが今でも強く残っているようです。

HIV感染に関する誤解

HIVは、「一緒にいれば感染する」「死亡率の高い病気」「蚊やダニが原因でも感染する」と、思っている人もいます。これは、大きな誤解です。HIVは、性行為以外の日常生活では、ほとんど感染することはありません。

例えば、食事で大皿を共有したり、一緒の鍋をついたりしても感染することはありません。今回のお話で、偏見や誤解が少なくなることを望みます。

まとめ

- ① HIVは早期発見・早期治療することで死に直結する病気ではなくまりました。
- ② HIVは、日常生活で感染することはありません。正しい知識を持ち、HIV感染者に対する偏見をなくしましょう。
- ③ HIV検査は、お近くの保健所で無料・匿名でできます。

参考文献

- ① HIV／エイズの正しい知識（エイズ対策研究事業）
- ② 一般診療においてHIV感染症を疑うコツ（エイズ対策研究事業）

保健所では、下記の日時で無料・匿名での検査が実施できます。

保健所名	佐賀中部保健福祉事務所	
検査日	〈第1・3火曜日〉	9時～19時
	〈それ以外の火曜日〉	9時～15時
電話番号	☎30・3622	



お知らせ

インフルエンザ予防接種を行っています。

事前にお問い合わせください。

【問合せ】小城市民病院 ☎73・2161 ホームページ・アドレス <http://www.city.ogi.lg.jp/hospital/>